

私のウェルビーイングは…

15分のミニ研修



足寄町立足寄小学校 教諭 岸山 知歩

「取組の紹介」

本校では、一人一人の教員が主体的に、自信をもって働く環境づくり=教員のウェルビーイング向上を目的に、**15分間のミニ研修「足小Tタイム」**を実施しています。放課後や空き時間を活用し、教員同士が気軽に集まって実践を共有する場です。年齢や経験に関係なく誰もが講師になるスタイルで、互いの得意や工夫を持ち寄りながら、学び合いの文化を育てています。2023年から本格実施され、今年は3年目の取り組みとなっています。

現在は、研修主事（人づくり担当）が企画運営の主軸となり、その時々のニーズに合わせて運営しています。

講 座①-A: どんごいスケート指導【見直し】	講 師:
日 時: 12月10日(火) 15分間(厳守)	
内 容: 【第1回】タイム＆ライアルへの見直しや各学年の指導について	
会 場: スタジオ	
参 加: 参加希望の人（声掛け: 舟山）	
持ち物: 保育体験スケート授業文書 等	
講 座①-B: どんごいスケート指導【練習法】	講 師:
日 時: 1月10日(金) 開会式後連続 11:00頃～?	
内 容: 【第2回】指導のポイントや練習方法の交流 20分程度	
会 場: リンク	
参 加: 参加希望の人（声掛け: 舟山）	
持ち物: 【スケート】?温かい格好?	
講 座②: 恢復がない3学期を【見直しと計画】	講 師:
日 時: 12月 下旬 都合のよい15分間(厳守)	
内 容: 道休校中に整理したことと3学期の見直し	
会 場: スタジオ	
参 加: []	日程は多少前後してもOK!

板書・ノート指導、教科の指導技術など、教員に求められるものは多岐にわたります。それぞれの得意を生かして、互いに頼り・頼られる関係に。

本やインターネットにはない、現場の子どもを見る目。実態に合った対処法は同僚の知恵や力を借りながら一人で悩まないことが理想です。

【日常の困り観は 働きやすさ
いろいろな視点から】



学びやすさ 【明日すぐに使える指導技術共有】

共創型OJTでは長年にわたり整備が必要とされ
てきた学校課題『異学年交流』をテーマに初任段階
層が中心となって企画・
提案を行っています。

カリキュラムや学級数などの実態と照らし合わせながら協議を重ねているところです。



【共創型 OJT の取り組みでミドルリーダーを育成】

学びやすさ

動きやすさ

「**成果と課題・今後に向けて**」

- ・【成果①】T タイムを通じて、教員同士のつながりが深まり、職員室の雰囲気が柔らかくなりました。若手教員は「講師を経験して、自分の実践に自信がもてた」と語り、中堅教員は「年齢や立場を越えて学び合える場になっている」と話します。
 - ・【成果②】15 分という短さが参加のハードルを下げる、「明日から使えるヒントが得られる」といった声も多く、研修への前向きな風土が育まれています。
 - ・【課題①】一方で、テーマの偏りや講師の固定化を防ぐ工夫は今後の課題です。若手育成とミドルリーダー育成を両立させるため、共創型OJTの位置付けを更に明確にしていく必要があります。
 - ・【今後に向けて】T タイムは、誰もが関わる“日常の学びの場”。これからも、無理なく続けられる仕組みとして育てていきたいと考えています。

今年度のTタイムは、「合唱指導」や「Canvaの使い方」など、若手教員が講師となってペテラン教員が学ぶ場も多く、個々のスキルアップに加えて、若手教員が自信をもって働けるきっかけになればと考えています。
(2025年研修主事)



4. 期間別OJTの達成度(スケール: 0~10)			
スケール	期間	達成度	主な
スケール1~7	7月~8月	なぜか達成度が低い者は? 何故か? 何を教える?	なぜか達成度が低い?
スケール8~10	8~9月	既存の知識を活用して教える。何を教える?	既存の知識を活用して教える。
スケール1~7	9月	なぜか達成度が低い者は? 何故か? 何を教える?	なぜか達成度が低い?
スケール8~10	9月	既存の知識を活用して教える。何を教える?	既存の知識を活用して教える。
スケール1~7	9月~10月	なぜか達成度が低い者は? 何故か? 何を教える?	なぜか達成度が低い?
スケール8~10	10月~1月	既存の知識を活用して教える。何を教える?	既存の知識を活用して教える。
スケール1~7	2月~3月	なぜか達成度が低い者は? 何故か? 何を教える?	なぜか達成度が低い?